

会議録様式

審 議 会 名	令和7年度 第1回杉戸町障がい者計画推進懇話会
開 催 日 時	令和7年8月22日（金）午後1時30分～15時00分
開 催 場 所	生涯学習センターカルスタすぎと 集会室1・2
会 議 の 議 題	(1) 第6次杉戸町障がい者福祉計画進行管理(令和6年度実績・令和7年度取組目標)について
公開・非公開の別	<u>公開</u> ・ 非公開（公開の場合傍聴者数 1人）
	（非公開の場合理由）
出席委員氏名	青木一子委員 猪股ふじ江委員 渡辺のり子委員 柴田周子委員 稲垣良行委員 山路久彦委員 田中佳世委員 間宮佐委員
審 議 の 概 要	1 審議事項
	(1) 第6次杉戸町障がい者福祉計画進行管理(令和6年度実績・令和7年度取組目標)について
	2 主な意見
	(1) 第6次杉戸町障がい者福祉計画進行管理(令和6年度実績・令和7年度取組目標)について 委員) 福祉教育の推進で小学校の車椅子体験などを実施しているが、実際に障がいのある方と触れあってもらいたい。せっかくなので生の体験をしてほしい。 事務局) 今年度はこれから学校から依頼があるのだが、実体験というものを学校に提案していきたい。 委員) 福祉体験は翌年度の担任に引き継ぎがない。 事務局) 福祉課、学校教育課と検討していきたい。 委員) スポーツフェステバルについて、障がい者が会場へ行く移動手段や、参加した時のサポート体制が整ってないと参加できない。町民体育祭の検討委員会のようなつなぎの場を考えてもらいたい。 事務局) 社会教育課と話しあいながら、どのように巻き込んでいけるか協議していきたい。 委員) 障害者差別解消について合理的配慮の周知はどのようにやっているのか。 事務局) 商工会の総代会に合理的配慮のパンフレットを配布し、研修が必要な場合は福祉課へ相談するよう話している。研修に関する

相談はまだない。

委員) 手話言語条例が成立して手話を広めるためにも、手話に特化した人たちが集まってそれに商工会の人だったりにも入ってもらって、手話を広めるためにどういう施策ができるか話し合う場を作ってほしい。

事務局) 懇話会は様々な障がいに対してご理解のある方たちなので、手話言語の進行管理もまずは懇話会ですすめていきたい。その中でさらに専門的な検討が必要となった場合は、そのような場も必要なのかなとは考えているがまずは懇話会でいきたい。

委員) ボランティア養成講習会をやってもボランティアとして残らないのでボランティア団体がなくなってしまう。

事務局) 9月以降ココスクに初めて参加してボランティア講座を募集するので、その反響を踏まえて来年に活かしていきたい。何かしら方策をしていかないといけないと思う。

委員) 避難行動要援護者名簿は各自主防災組織に回っていると思うが、災害の時に援護者が援護できるのか心配。

事務局) 自主防災組織も役員が1年とか2年で変わっていくので、どこまで引き継がれているか正直町でも分からない。

避難行動要援護者名簿と合わせて、個別避難行動計画を1人1人の状況状態に合わせて作るよう、国から危機管理課へは下りてきているが、現実的には個人情報の関係とかハードルがあって進んでいない。日頃から災害の時にどのように逃げるか考えるきっかけと捉えて、個別避難行動計画の作成について、庁内のフローができ次第アプローチしていければと思う。